

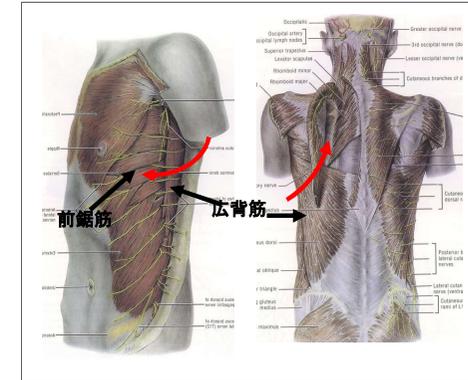
神戸大学医学部附属病院の紹介



2022年5月29日

呼吸器外科

➤ 大開胸手術



自己紹介

- 昭和 59年 (1984) 島根県立浜田高等学校 卒業
- 平成 2年 (1990) 神戸大学医学部 卒業
- 平成 2年 (1990) 神戸大学医学部附属病院第2外科 研修医
- 平成 3年 (1991) 三木市立三木市民病院 研修医
- 平成 4年 (1992) 兵庫県立成人病センター レジデント
- 平成 5年 (1993) 国立療養所兵庫中央病院 レジデント
- 平成 6年 (1994) 神戸大学医学部附属病院 第2外科 医員
- 平成13年 (2001) 米国ニューヨーク市、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center、分子生物学教室、Research Fellow (2年間)
- 平成24年 (2012) 神戸大学大学院医学研究科外科学講座 呼吸器外科学分野 教授
- 令和 3年 (2021) 神戸大学医学部附属病院 病院長、神戸大学 副学長

2

呼吸器外科

➤ 内視鏡手術手術



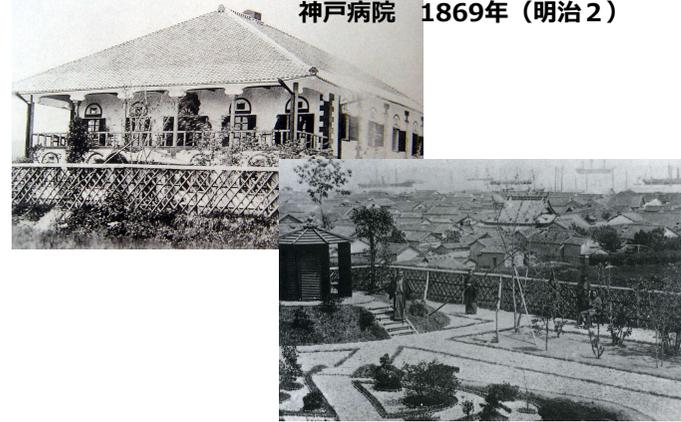
4

呼吸器外科

▶ ロボット支援下手術 ビデオ



神戸病院 1869年（明治2）



明治20年 神戸病院中庭

神戸大学医学部附属病院

本院:934床（一般病床 888床、精神病床46床）
国際がん医療研究センター（ICCRC）:60床

（沿革）

明治 2年:神戸病院設立

昭和19年:兵庫県立医学専門学校設置

昭和21年:兵庫県立医科大学の設置

昭和27年:兵庫県立神戸医科大学の設置

昭和39年:兵庫県立神戸医科大学の国立移管

昭和42年:神戸大学医学部附属病院へ改称

平成16年:国立大学法人へ移管

平成29年:国際がん医療・研究センター（ICCRC）の設置

令和 元年:設立150周年

令和元年度神戸大学の診療実績

病床数 994 床				敷地面積 45,973 m ²				建物延面積 121,581 m ²									
順位	大学名	数	順位 変動	順位	大学名	m ²	順位 変動	順位	大学名	m ²	順位 変動	順位	大学名	千人	順位 変動		
1	九州大学	1,351		1	大阪大学	471,451		1	慶応大学	313,848	+5,521	1	慶応大学	759	+1,511		
2	東京大学	1,236	▲18	2	九州大学	411,456		2	京都大学	229,488	+2	2	北海道大学	764	+1,111		
3	東北大学	1,160	▲17	3	富山大学	321,891		3	九州大学	212,488	▲1	▲2,216	3	東北大学	728	+7,931	
4	千葉大学	1,131	+10	4	福井大学	292,930		4	名古屋大学	211,953	▲1		4	京都大学	686	▲0,511	
5	大阪大学	1,086	▲27	5	大分大学	256,025		5	東北大学	157,925			5	東京大学	680	▲2,151	
6	高松大学	1,010		6	富山大学	246,746	+5	+26,079	6	熊本大学	152,364			6	神戸大学	620	▲6,431
7	神戸大学	994		7	福井医科大学	231,828			7	高松大学	121,984	+2	+515	7	大阪大学	584	▲0,311
8	北海道大学	939		8	京大	224,316	▲1		8	明治大学	121,766	▲1	+69	8	広島大学	573	+0,711
9	筑波大学	874		9	慶応義塾大学	223,158	▲1		9	神戸大学	119,852	▲1		9	岡山大学	566	+0,711
10	千葉大学	850	+3	10	福井大学	218,382	▲1		10	岡山大学	119,852			10	千葉大学	550	▲0,211
11	岡山大学	845	+1	11	山形大学	217,839	▲1		11	千葉大学	118,772			11	千葉大学	541	+1,211
12	熊本大学	845		12	愛媛大学	193,168			12	広島大学	113,431		+162	12	広島大学	527	+1,611
13	金沢大学	838	▲3	13	秋田大学	168,276			13	大阪大学	112,218			13	山口大学	511,973	+9
14	新潟大学	827		14	群馬大学	168,276			14	山口大学	111,973		+27,398	14	群馬大学	500,000	
15	群馬大学	800		15	群馬大学	168,276			15	群馬大学	110,014	▲1		15	群馬大学	499	+1,111
	平均	767	▲2		平均	143,632	+973			平均	105,507	+1,476		平均	428	+0,311	
注				注				注					注				
出	神戸大学病院 934				出	神戸大学病院 35,973				出	神戸大学病院 108,608						

入院延患者数 305,806 人				病床稼働率 84.3 %				外来患者延数 520,819 人						
順位	大学名	千人	順位 変動	順位	大学名	%	順位 変動	順位	大学名	千人	順位 変動			
1	九州大学	445	+0.2%	1	山形大学	93.8%	+9	1	九州大学	759	+1,511			
2	東京大学	360	+1.5%	2	鹿児島大学	92.7%	▲1	+0.9pt	2	北海道大学	764	+1,111		
3	京都大学	354	▲0.1%	3	福井大学	92.2%	▲1	+0.7pt	3	東北大学	728	+2		
4	大阪大学	336	+0.8%	4	岐阜大学	90.9%	▲1	▲0.2pt	4	京都大学	686	▲0,511		
5	京都大学	329	▲0.7%	5	九州大学	90.2%	+0.2pt		5	東京大学	680	▲2,151		
6	神戸大学	308	▲0.7%	6	高松大学	89.4%	+1	▲0.4pt	6	岡山大学	620	▲6,431		
7	名古屋大学	306	▲2.4%	7	滋賀医科大学	89.2%	▲1	▲0.8pt	7	大阪大学	584	▲0,311		
8	北海道大学	289	▲0.0%	8	筑波大学	88.9%	+1	+0.3pt	8	広島大学	573	+0,711		
9	筑波大学	276	+0.6%	9	慶応大学	88.5%	▲2	▲1.6pt	9	岡山大学	566	+0,711		
10	千葉大学	268	▲1.5%	10	新潟大学	88.2%	+5	+0.9pt	10	名古屋大学	550	▲0,211		
11	新潟大学	266	+1	11	富山医科大学	87.5%	+2	▲0.1pt	11	名古屋医科大学	541	+1,211		
12	東北大学	265	▲1	12	東京医科大学	87.1%	+5	+0.9pt	12	千葉大学	535	▲1,111		
13	筑波大学	260	+0.3%	13	琉球大学	87.1%	+10	+1.1pt	13	神戸大学	521	▲0,211		
14	金沢大学	257	+1.1%					14	岡山大学	469	+1			
15	岡山大学	246	+0.3%	27	神戸大学	84.3%	▲13	▲3.2pt	15	群馬大学	454	▲2,511		
	平均	239	▲0.5%		平均	85.5%	▲0.3pt		平均	428	+0,311			
注				注				注						
出	神戸大学病院 260				出	神戸大学病院 85.6%				出	神戸大学病院 519			

高度急性期病院

地域医療構想について 平成28年9月9日
地域医療構想アドバイザー会議資料

- 「医療介護総合確保推進法」により、平成27年4月より、都道府県が「地域医療構想」を策定。平成28年度中に全都道府県で策定済み。
※「地域医療構想」は、二次医療圏単位での策定が原則。
- 「地域医療構想」は、2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を推計し、定めるもの。
- 都道府県が「地域医療構想」の策定を開始するに当たり、厚生労働省で推計方法を含む「ガイドライン」を作成。平成27年3月に発出。

医療機能
 (機能の異動に
見合った) 医療機能
 (各自主に) 連携
 (連携) 連携
 (連携) 連携

病床機能報告 医療機能の現状と今後の方向を報告(毎年10月)

都道府県 医療機能の報告等を活用し、「地域医療構想」を策定し、更なる機能分化を推進

〔「地域医療構想」の内容〕
 1. 2025年の医療需要と病床の必要量
 ・高急性性期・急性期・慢性期の4機能ごとに医療需要と病床の必要量を推計
 ・在宅医療等の医療需要を推計
 ・都道府県内の構想区域(二次医療圏が基本)単位で推計
 2. 目指すべき医療提供体制を実現するための施策
 (例) 医療機能の分化・連携を進めるための施設設置
 在宅医療等の充実、医療従事者の確保・養成等

○機能分化・連携については、「地域医療構想調整会議」で議論・調整。

特定機能病院

- ◆本院 平成6年7月に指定
 ※全国に84施設(兵庫県内には本院を含め2施設)
- ◆役割
 医療法 第十六条の三
 一 高度の医療を提供すること。
 二 高度の医療技術の開発及び評価を行うこと。
 三 高度の医療に関する研修を行わせること。

高度急性期病院

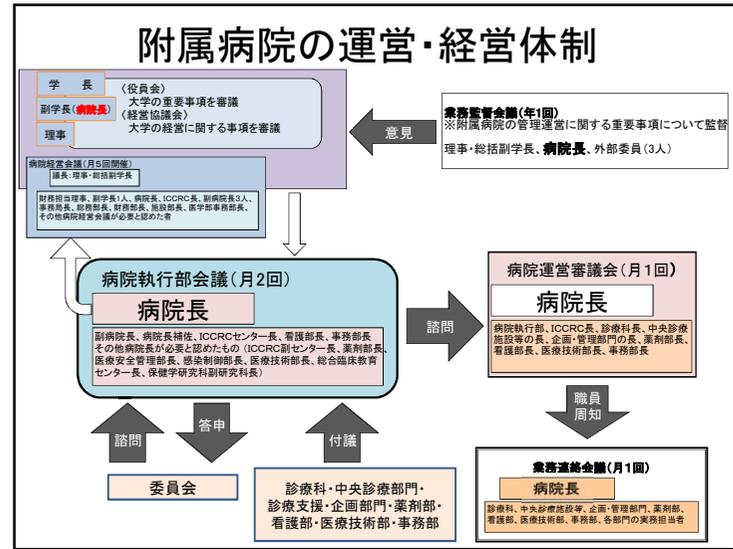
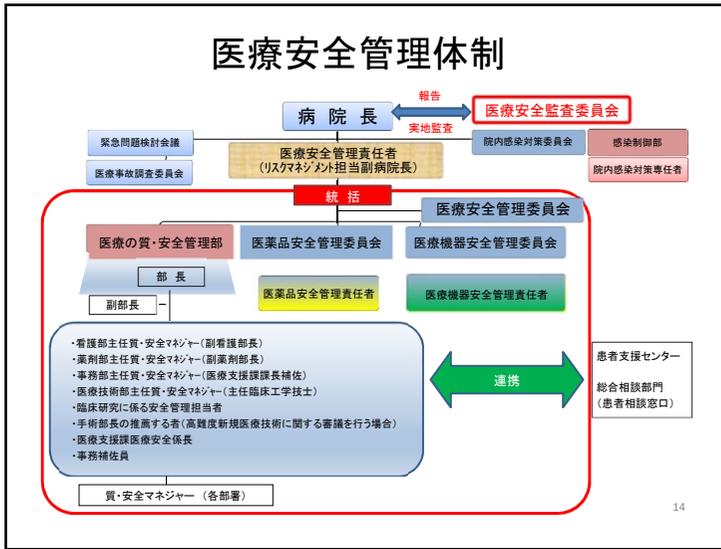
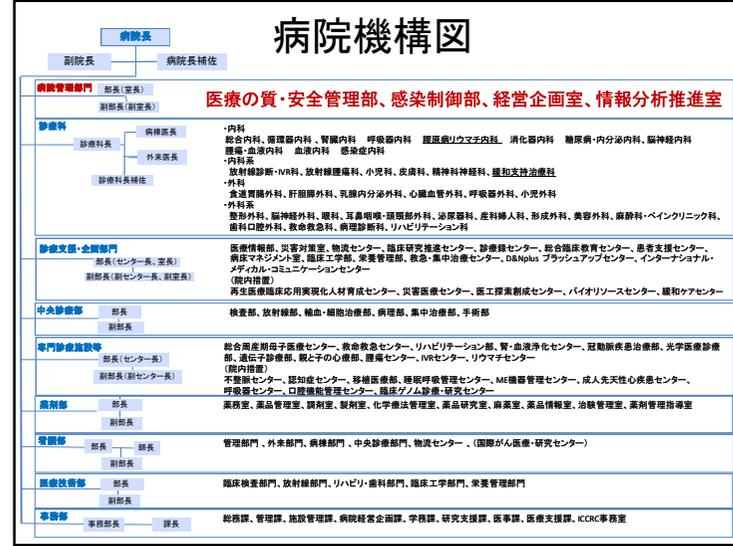
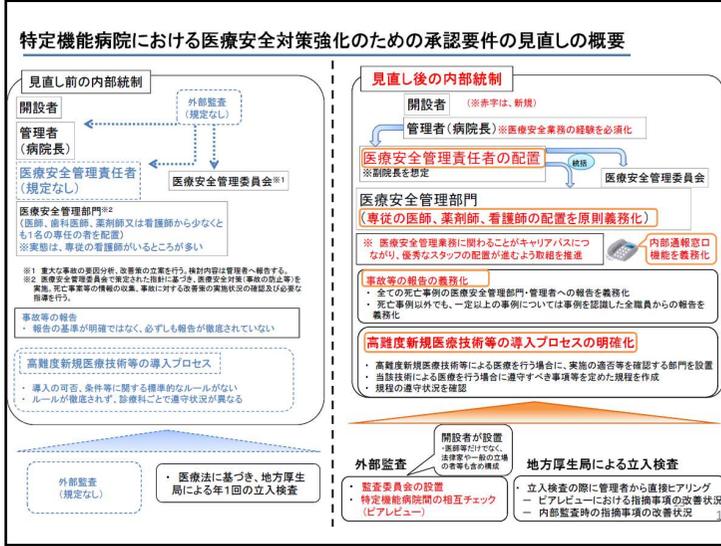
急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能をもつ

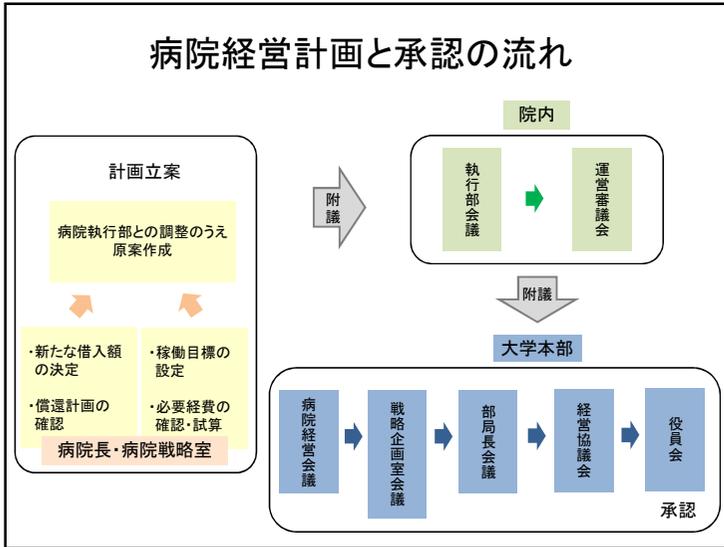
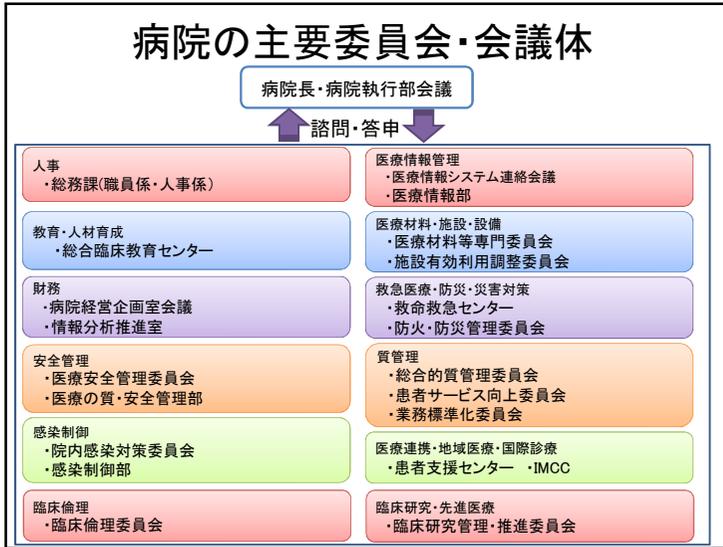
三次救急(高次救命救急センター、救命救急センター)の指定を受け、救命救急病棟、ICU、HCU、NICUなどをもつ



医療の質・医療安全

- 平成11年大学病院における手術患者取り違え
 ・文部科学省指導のもと、国立大学医学部附属病院長会議による医療安全に関連した提言(平成14年3月)
 ・国立大学医学部附属病院医療安全管理協議会設立(平成14年10月)
- 医療法改正に伴う医療機関における医療安全管理の義務化(平成19年)
- 平成26年 2大学病院における死亡事故の発生
 ・厚生労働省タスクフォースによる**特定機能病院に対する集中検査の実施**(平成27年6月~(約3ヶ月間))
 ・医療安全確保に関するタスクフォース等を踏まえた**特定機能病院の承認要件見直し**(医療法施行規則の一部改正(平成28年10月~))





病院(診療)専任職員の雇用

診療科・部門横断的な活動を行う専門教員の配置

- ・ 医療の質・安全管理部門
- ・ 情報分析推進室
- ・ 総合臨床教育センター
- ・ 臨床研究推進センター
- ・ 患者支援センター
- ・ 栄養管理部(NEST)
- ・ 感染制御部門
- ・ 地域医療活性化センター
- ・ 救命救急センター
- ・ 緩和ケアチーム

など

特命教員
 教授: 10名 准教授: 7名 講師: 8名 助教: 7名
 (2021年10月1月現在)

病院基本理念の実現に向けて

神戸大学医学部附属病院マスコット
くすのきファミリー

くすのき ななほ くーちゃん くすのき まーくん

基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

21

基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

23

ステークホルダー

1. 患者・家族
2. 病院職員・将来の医療従事者
3. 未来の患者
4. 地域住民
5. 地域医療施設・行政(兵庫県)
6. 外国からの患者

22

患者中心医療の実践

医療の質のなお一層の向上

- ・情報分析推進室
- ・医療の質・安全管理部
- ・総合的質管理委員会
- ・業務標準化委員会

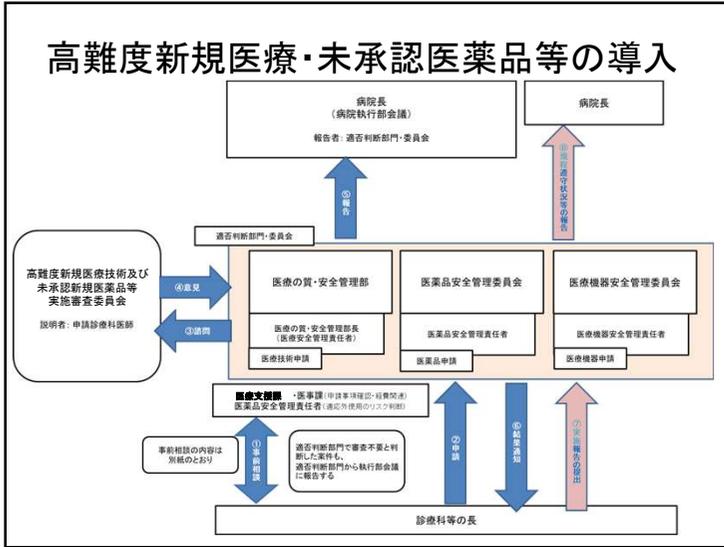
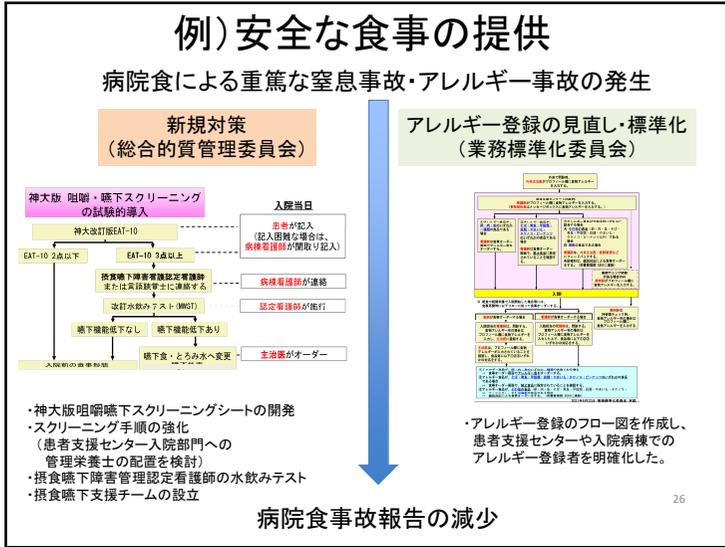
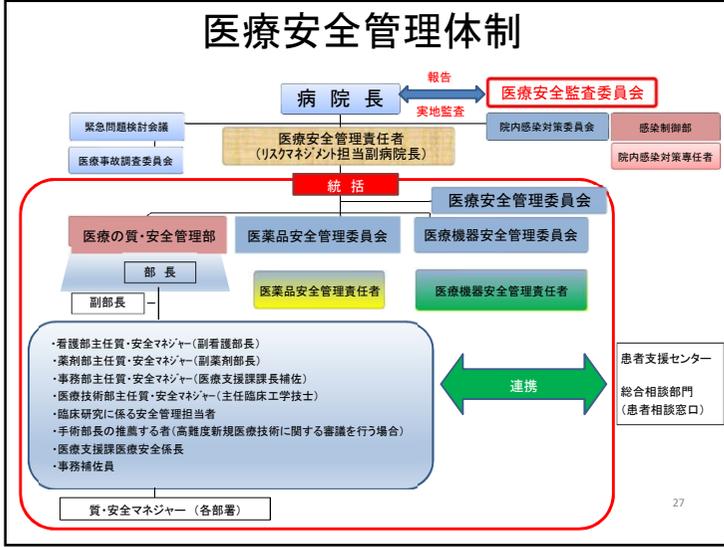
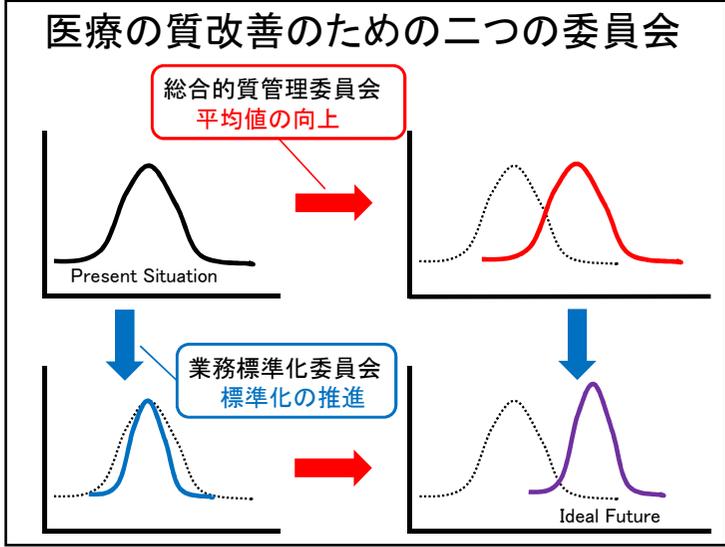
安全性の高い医療の実践

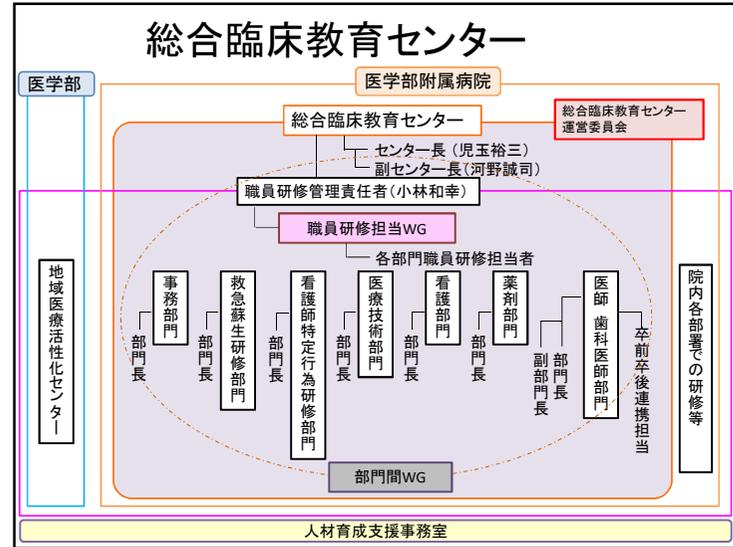
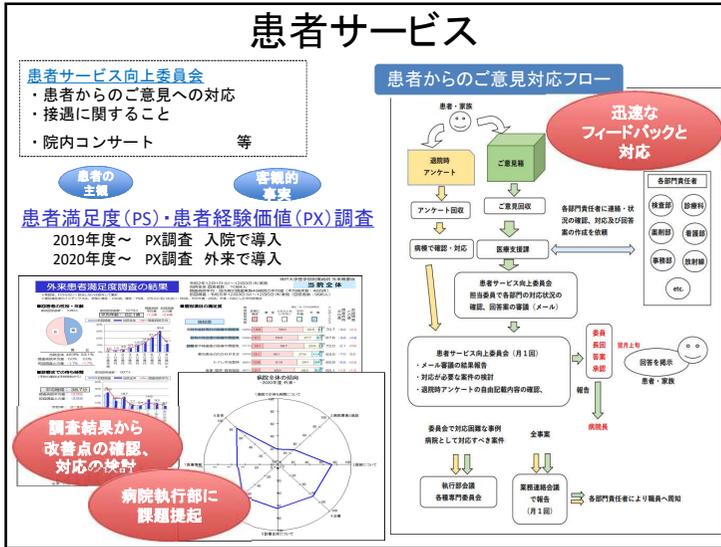
- ・医療の質・安全管理部
- ・感染制御部
- ・医療安全管理委員会
- ・院内感染対策委員会

快適環境の向上・患者満足度の向上

- ・看護部
- ・診療録センター
- ・患者支援センター
- ・病床マネジメント室
- ・医療支援課
- ・管理課
- ・施設管理課
- ・患者サービス向上委員会

24





- ## 基本理念
1. 患者中心の医療の実践
 2. 人間性豊かな医療人の育成
 3. 先進医療の開発と推進
 4. 地域医療連携の強化
 5. 災害救急医療の拠点活動
 6. 医療を通じての国際貢献
- 30

- ## 基本理念
1. 患者中心の医療の実践
 2. 人間性豊かな医療人の育成
 3. 先進医療の開発と推進
 4. 地域医療連携の強化
 5. 災害救急医療の拠点活動
 6. 医療を通じての国際貢献
- 32

神戸医療産業都市の医療機器開発に関わる約100社の企業、及びメディカルクラスター(医療機関)との連携を図り、拠点から革新的医療機器を創出して地域産業の発展に貢献する。

国際がん医療・研究センター
兵庫県立こども病院
神戸国際医療交流財団
IMDA
メテカロイド
神戸大学統合研究拠点
次世代バイオ医薬品製造技術組合
理化学研究所 計算科学研究機構 (スーパーコンピュータ「京」(FUGUI))
神戸大学ニューベンションセンター
KIMEC
KIBC
先進医療センター
理化学研究所 (CDB)
中央市民病院
高松ホーモアイランドリハビリテーションセンター
チャイルド・ケモハウス
神戸低線量がん医療センター
至三宮 (約10分)

★内閣府の地方大学・地域産業創生事業：
神戸大学・神戸市・産業界による「**神戸未来医療構想**」

患者支援センター

医療の質向上・患者・家族のQOL向上を目的とし、多職種が協働して業務を遂行する

センター長(医師:教授)
副センター長(専従医師:特定助産) (看護師:副看護部長)
事務室長(事務職員:課長補佐)

地域連携部門 責任者(事務職 専門職員) | 入院支援・総合相談部門 責任者(看護師長)

<地域連携部門>		<入院支援・総合相談部門>			
【業務内容】 広報業務 返書管理 紹介予約支援 FAX紹介予約 がん地域連携バス 地域連携に関わる統計・分析		事務G	入院支援G	退院支援G	相談G
		【業務内容】 他院からの入院相談 他院の診察予約 (24診療科) 入院受付窓口業務	【業務内容】 入院支援 (24診療科) 外来支援 その他相談	【業務内容】 退院支援 HIV相談 がん相談*	【業務内容】 患者相談 HIV相談 総合案内 がん相談*

<患者支援センター事務室> センターに係る予算管理、労務管理、その他事務業務

患者支援センター構成員: 医師、看護師、公認心理師、医療ソーシャルワーカー、医師事務作業補助者、事務職員

<定期的に取り組んでいる地域連携に関する活動>
・地域連携セミナーの開催
・神戸市各区医師会が生担する多職種連携協議会への参加
・腫瘍相談やがん相談に関する各種研修会の開催

<総合相談部門に下記センターを設置済>
※1 がん相談支援センター
※2 神戸市難病相談支援センター

基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

患者支援センター基本理念・基本方針

基本理念

- ・地域医療構想における当院の役割を踏まえ、効率的かつ良心的な**地域医療連携**を推進する
- ・入院前から、入院中・退院後の生活を見据えて、患者・家族に対し、総合的かつ効果的な**生活支援**を行う
- ・患者・家族に質の高い医療・社会福祉に関する相談支援を提供することを通して、患者・家族の**生活の質 (QOL) 向上**に寄与する。

基本方針

- ・安心できる医療・療養生活を提供する
- ・患者中心の医療 (Patient-Centered Medicine) を実践する
- ・その人らしい療養生活を支援する
- ・患者・家族の生活の質 (QOL) の向上を図る
- ・多職種協働を実践する
- ・地域連携を強化する
- ・**患者・家族、職員、そして、地域全体を幸せにする**

2020年7月 ER内にEmergency Care Unit (ECU) 4床の新設



ERを改修して救命救急入院料加算の対象ベッドを4床設置するECUを建設しました。救命救急入院料加算率は95%以上です。

2021年11月 ER拡張(トリアージ室設置)





ER前に陰圧の初療室、除染室、多目的室からなるトリアージ室を設置しました。感染疑い患者の受け入れのキャパシティが上がりました。

45

基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

47

当院における新型コロナウイルスに対する取組状況

重症患者 受入	110人	注) 電子カルテの情報から、R3年4月1日からR4年3月31日までの間に入院した患者について、当該入院中に一番重かった症状に基づき、病院経営企画課が独自に集計した人数による。
中等症・ 軽症受入	129人	
PCR検査 実施件数	14,394件(令和3年度実績)	
院内情報 共有関係	155回	新型コロナ感染対策本部会議：108回(通算) 病院長月曜朝礼：47回 ※いずれもR4.3.31まで

ワクチン接種に係る医療従事者の派遣状況 (R3.5~R4.3)

医師	2,574名	歯科医師	119名
看護師	1,867名	薬剤師	514名

* いずれも延べ人数。派遣先には、神戸大学の職域接種を含む。
* 本学がオペレーションに参画したノビアスタジアム神戸の接種会場には、上記職種から延べ3,254名を派遣した。

46

医療を通じての国際貢献

国立大学附属病院長会議 グランドデザイン2016(国際化)

- ・提言1 外国人に対する医療サービスを充実・強化し、質の高い日本の医療を提供する
- ・提言2 日本の医療の人材・技術・システムを積極的に海外展開し、国際貢献に寄与する
- ・提言3 海外からの医療人受け入れを推進し、教育・診療・研究を通じて、相互の医療レベルの向上を図る
- ・提言4 情報通信技術の整備・活用により、海外拠点病院群との連携を強化し、世界をリードする医療連携を構築する
- ・提言5 国際医療を担う専門部門を国立大学附属病院に設置し、専門部門間の連携を強化することにより、上記提言を実現する

↓

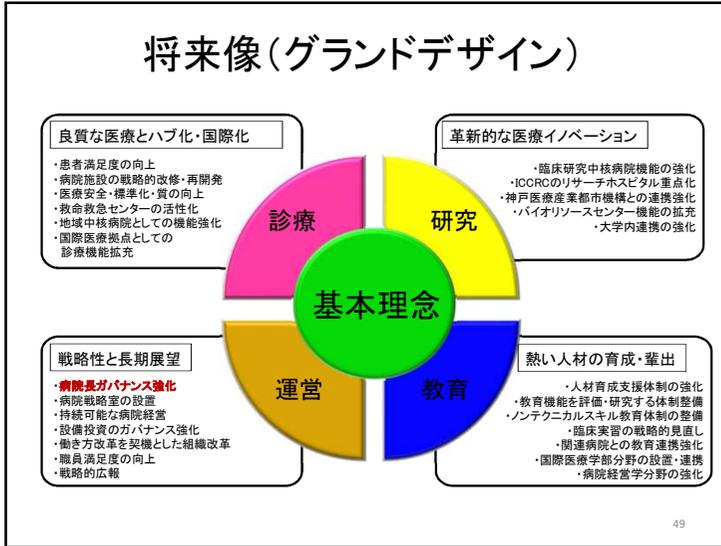
様々な国際交流に関わるインバウンド・アウトバウンドのマネージメントを行う、部門横断的なセクションが求められる

↓

医学部附属病院インターナショナル・
メディカル・コミュニケーション・センター(IMCC)の設置(平成29年度)

外国人患者受け入れ医療機関認証制度(JMIP)認証取得(平成31年4月)

48



病院長 月曜朝礼・ラウンド

病院長月曜朝礼

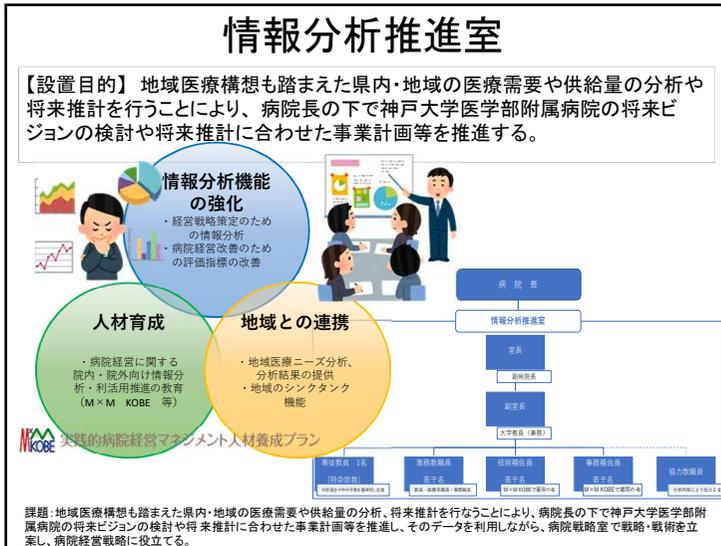
> 病院長所長表表明講演会はこちら

> 病院長から職員の皆様に向けて、情報発信の機会として、週に1回オンライン配信を開始することとなりました。

[NEW] 令和3年10月11日(月)

ラウンド先		日	程
1	CU/HCU, 11階	5月14日	9月29日
2	救命・救急センター、ECU、IVR	5月21日	10月6日
3	11階、10階、10室	5月27日	10月15日
4	8階、9室、8階、5室	6月2日	10月20日
5	6階、7室、6階、6室	6月11日	
6	6階、5室、4階、4室	6月16日	
7	産科母子センター(産科/MFICU、NICU/GCU)、産科産科	6月23日	
8	患者支援センター、血液製法センター	7月2日	
9	手術部、検査部	7月9日	
10	理学療法部、通院治療室	7月16日	
11	リハビリテーション部、研修部	7月21日	
12	外来	7月28日	
13	SCRC	8月4日	
14	看護管理課、薬剤部	8月13日	
15	清流センター、高圧センター	8月20日	
16	放射線部、高エネルギー線(放射線治療)	8月27日	
17	委託業務(新関西医療、ニチイ)	9月3日	
18	委託業務(クリーン工房、日経サービス)	9月10日	
19	研修センター、医療情報部	9月17日	
20	医療の質・安全管理部	9月24日	

51



神戸大学医学部医学科卒業生の動向

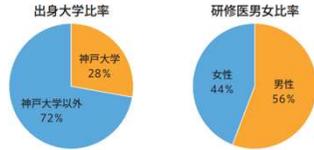
病 院 名	令和4年	令和3年	令和2年
神戸大学医学部附属病院	9	12	14
加古川中央市民病院	9	6	6
愛仁会高槻病院	5	2	4
兵庫県立尼崎総合医療センター	5	4	2
北播磨総合医療センター	4	4	8
兵庫県立淡路医療センター	4	3	2
大阪府済生会中津病院	4	2	3
国立病院機構 神戸医療センター	4	3	4
神戸赤十字病院	3	3	5
淀川キリスト教病院	3	1	3
西脇市立西脇病院	3	3	4
神戸市立西神戸医療センター	3	1	1
愛仁会千船病院	3	1	1

52

神戸大学医学部附属病院研修医プログラム

在籍研修医データ

(2021-2022年度採用研修医)



採用実績

コース	2021年度採用実績		2022年度採用実績	
	採用者数	出身大学	採用者数	出身大学
	神戸大学	他	神戸大学	他
一般	20	6	14	16
たすきがけ	43	13	30	41
小児科	2	1	1	1
産婦人科				

研修終了時アンケート結果

(2020年度採用研修医)

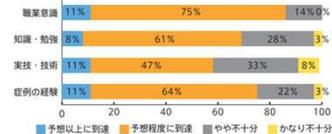
全体的に初期研修2年間に満足していますか。

初期研修2年間の満足度



研修を始める前の自分のイメージと比べて、自分の目標は到達できましたか。

研修終了時の目標到達度



53

基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

55

当院と連携する統合新病院



北播磨総合医療センター
450床 2013年統合



加古川中央市民病院
600床 2016年統合



兵庫県立丹波医療センター
320床 2019年統合



甲南医療センター
461床 2022年2月再編



兵庫県立はりま姫路総合医療センター
736床 2022年5月統合

54

ステークホルダー

1. 患者・家族
2. 病院職員・将来の医療従事者
3. 未来の患者
4. 地域住民
5. 地域医療施設・行政(兵庫県)
6. 外国からの患者

56